



みなみっ子

24号

学校教育目標

〇かしこく

〇やさしく

〇たくましく

令和7年11月20日(木)

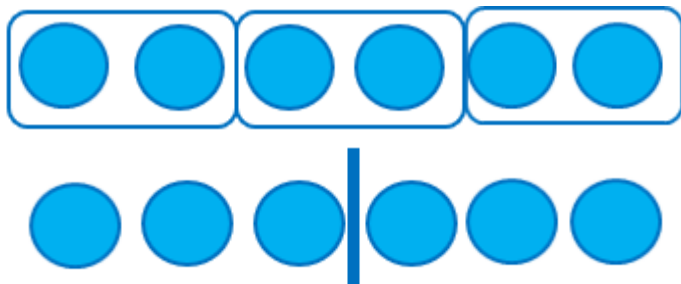
南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

算数の学習の話

算数の問題で $6 \div 2$ と問われた場合、3年生以上であれば、答えは3と言えるでしょう。しかし、答えが正解であっても割り算の意味をしっかりと理解している子はそこまで多くなく、高学年であっても同様です。

$6 \div 2$ を図示すると以下の2通りを示すことができます。



上の図は6の中に2つがいくつ作れるか？(包含除)

6を2等分するといくつになるか？(等分除)となり、 $6 \div 2 = 3$ であっても大きく意味が異なります。従って、ドリルなどで機械的に多くの問題を解いても、その本質がつかめていない場合があります。

学校では、子どもたちがしっかりと意味理解をするような授業を展開していきたいと思います。

「島尻地区小学校音楽発表会」

11月21日(金)南城市文化センター・シュガーホールで、島尻地区小学校音楽発表会が開催されます。本校からは6年生4名が代表で参加します。その代表の皆さんを励ます壮行会を実施しました。緊張しながらもとても素敵な歌声で、聴いている6年生も感動しました。発表会当日にも素敵な歌声がシュガーホールにいる観衆の心をつかむと思います。



社会科の学習を愉しむ話

6年生の社会科の学習で歴史の学習があります。子どもたちにとって、そして多くの大人にとっても苦手意識があるように思えます。おそらく歴史上の人物や出来事が起こった年を覚えたりすることが苦手意識の原因の一つと考えられます。

そこで社会科の歴史が好きになる一つの方法をお伝えします。その方法として、歴史を自分自身と関連づけてみることです。自由民権運動の場面では「板垣退助」が全国的なキーパーソンですが、ここ沖縄ではお隣の八重瀬町出身の「謝花昇」がいます。また、明治維新の場合、ジョン万次郎(豊見城市で幽閉された)との関わりや、琉球との関わりで調べてみると意外と面白い話題があります。

歴史を自分とは関わりのない遠い世界のことだと思うのではなく、自分との関わりで見つめてみることをお勧めします。

その他には歴史を取り扱っている漫画やYouTubeなども歴史の全体像を捉えることができます。

私事ではありますが、私が歴史に興味を持ち続けている理由として次のような出来事が影響しています。

まず、ジョン万次郎について知ったのは、私が小学校の高学年の時に、豊見城市(当時は村)が高知県と交流していて知り、私の出身地の翁長が関わっていること、更にその幽閉された高安家が私の祖母の実家であることが歴史に興味を持ち始めたきっかけです。

そして謝花昇さんについては、私が以前勤務していた東風平小学校の出身という関係で、いろいろ調べてみると、謝花さんが沖縄県からはじめての本土への留学生として派遣されたこと。その留学生の仕組みを作った上杉茂憲さんは、米沢藩(山形県)の最後の殿様であり「為せば成る為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり」の上杉鷹山との関係があること。それ以外にも、東風平小学校が移転した経緯、糸満市の兼城小学校と合併していた時期があり兼東小学校という校名であったことなど一つのことからどんどん広がっていき楽しくなっていました。

学校で学習したことを一つのきっかけとして、知識を関連づけたり、深掘りしたりすることが学びを楽しむ一つの方法になります。

与えられる受け身の学習から、自らワクワク愉しむ学習、学びへとバージョンアップしませんか？